

## 発展的評価項目＜独自評価項目＞

～事業所におけるサービスの質の向上のためのシステムについての評価結果です～

事業所名： もやい

取り組み

工賃向上のためキャンドル製品の在庫を増やす

取り組み期間

7年4月～9月

PDCA	取り組みの概略
「P」 目標と 実践計画	自主製品のキャンドルの制作は、現在、3グループの利用者3～4名で行っている。活動は週2日、特定の職員と利用者で取り組んでいる。特定の職員しかキャンドル制作の工程を理解していないこと、週2日しか活動できていないことから、長期目標に「工賃の3割向上を目指す」ことを、短期目標に「キャンドル制作の活動を週5日行う。10人以上の活動参加を目指す。地域のケーキ屋等キャンドルを使用する店舗に相談する」ことを置き、取り組みを実践した。
「D」 計画の実践	職員の共有化の方法として、グループミーティングで共有すること、職員予定表にキャンドルの活動を週5日入れること、管理者やサービス管理責任者を含めた提供活動ミーティングで共有することにした。
「C」 実践の評価	工程を理解している職員から、ミーティング等で他職員に工程を伝達し、グループの職員が工程を理解し活動に活かすことができた。また、作業工程を分析し、15工程に分けた工程表を作成し、工程ごとの利用者の能力を確認した結果、10人以上の利用者がキャンドル制作のうち、自分が活動できる工程に関わることができた。職員の予定表に活動を入れることで、全職員に周知でき、予定通り、週5日キャンドル制作の活動を実施できた。地域の洋菓子店などへの働きかけは、継続して行っている。
「A」 結果と 改定計画	グループミーティングという場で共有することによって、普段支援しながら共有するよりも、職員が理解できたと感じている。また、工程分析の結果、利用者の新たな能力を発見し、違う活動にも活かすことができた。先入観にとらわれず、分析の結果に従って活動したことが良かったと感じている。取り組みは継続し、工賃向上のため、キャンドル製品の生産量を増やし、販売先を増やしていきたいと考えている。

### ＜第三者評価コメント＞

一定の成果はあったが、長期目標に向かって、継続した取り組みとしている。PDCAサイクルを意識して行うことにより、新たな発見や利用者一人ひとりに合った支援につなげている。今後の成果に期待する。

## 課題抽出項目＜独自評価項目＞

～内容評価項目について、次への取り組みを事業所が検討した結果です～

事業所名：もやい

内容評価項目の＜A6:個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている＞を取り上げ、今後の具体的な取り組みを検討した結果です。

### 事業所による取り組み

＜A6:個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている＞	自己評価の内容	<p>＜現在行われていること＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個別支援計画に基づく日中活動を毎日提供し、記録に残している。提供した結果、取り組めなかった場合、再アセスメントし、違う方法で取組を提供し記録している。再アセスメントでは、普段の活動の様子を ABA（応用行動分析）を元に記録し取り組んでいる。</li><li>・重点課題については2週間ごとの構造化ミーティングにて現場や管理者とも情報を共有し、改善に向けて取り組んでいる。</li><li>・作業内容についても、毎月行う提供活動ミーティングにて工程分析等を話し合い、様々な利用者が作業にかかわれるように考慮している。</li></ul>
	自己評価で気づいたことについての今後の具体的な取り組み	<p>＜今後の具体的な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日中活動の内容を、よりそのご利用者に合った内容にできるように、評価キット等も活用して、アセスメントの質を上げる。</li><li>・そのために、客観的な視点を持つための研修等を行う。</li></ul>

### ＜第三者評価コメント＞

利用者の日中活動の内容を、より利用者に合った内容にできるよう、職員全体で取り組んでいる。今後の取り組みの成果に期待する。